

学校読書活動の取組【舞鶴市立倉梯小学校】

1 実践テーマ

魅力ある学校図書館を目指して

—すべての子どもに図書を届ける すべての子どもに図書で力を付ける—

2 学校の概要や児童の様子

本校は、舞鶴市の東部に位置し、周囲には公共の施設や商店、飲食店なども多い。校区は、古くからの町並みと新興住宅地が混在した住宅地であるが、校区を流れる与保呂川沿いや学校のそばにある彌伽宜神社には豊かな自然の姿が残り、児童は四季の変化を感じながら登下校することができる。

本校の歴史は古く、明治6年に創立され、来年150周年を迎える。令和4年度は、全校児童452名、特別支援学級4学級を含む21学級で、学校教育目標「すすんで学ぶ、やさしくたくましい児童の育成」をもとに、昨年度から始まった一人一台のタブレット端末の活用を積極的に取り入れつつ、基礎学力の定着を大切にしながら取組を進めてきた。

児童は、全校的に明るく素直で、男女仲良く協力して取り組めるよさを持っている。しかし、読書活動に関しては、自ら進んで本に手を伸ばす児童が少なかったり、本を読むことに強い苦手意識を持っている児童が多かったりする。また、図書室の場所が2か所に分かれていることも起因して、図鑑や情報資料等がある「調べものの部屋」の稼働率が低く、児童の学習に図書が十分活用されていない現状もある。

3 実践内容

上記の課題点の改善を図るために、まずは図書室を楽しい場所、行きたくなる場所として位置付けること、そして児童のニーズに合わせていつも図書が身近にある環境づくりをすることが大切であると考えた。そのために、実践テーマを「魅力ある学校図書館を目指して—すべての子どもに図書を届ける すべての子どもに図書で力を付ける—」と定め、以下の内容に取り組んだ。

(1) 学校図書館運営の企画・立案

ア 図書室を楽しい場所・行きたくなる場所に位置付ける

- ・ 2つの図書室の整備・・・2つの図書室の明確化

「おはなしの部屋」… 文学は絵本、やさしい読み物、中・高学年向けの読み物
科学や歴史等に関する読み物は入門的なものを一部配架
国語の教科書に出てくる作家の作品は特設コーナーを新設

「調べものの部屋」… 日本十進分類法によって図書を整備

椅子の数を減らし、個人の学習スペースが確保できるように変更

おはなしの部屋

調べものの部屋



目を引くポップ
で興味付け



国語の教科書に出て
くる本のコーナー



この部屋が学習の場になるよ
うに机・椅子の配置を変更

- ・ 図書室ガイダンス・・・図書館加配による図書館利用指導を全学年で実施

各学年の学習内容を活かした学びのつながり



日本十進分類法を学んだ5年生が2年生に「どこにあるかなクイズ」作り



5年国語「図書館を使いこなそう」
2年国語「図書館たんけん」

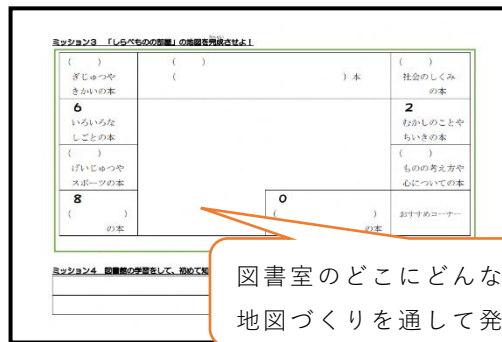


2年生はクイズをもとに、本の種類ごとに分類

学習に使用したい場所・使える場所として位置付ける



3年国語「図書館たんていだん」



図書室のどこにどんな本があるか、地図づくりを通して発見する

イ いつでも本を手にとれる環境づくり

- ・ 一箱図書館の設置・・・教室前の廊下に各月の学習内容に関連した図書を配架
- ・ 夏休み中の図書室の開室・・・貸出図書の交換及び読書感想文や自由研究のための選書のアドバイスの機会に活用（計7日間）

一箱図書館

4年生 1月
国語科「ウナギのなぞを追って」の
関連図書



夏休み中の開室

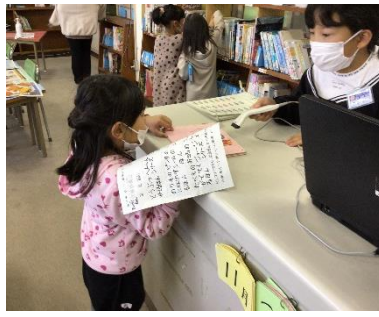


ウ 読書の楽しさを広げる委員会活動

- ・ 月目標に合わせた図書コーナーの設置
- ・ おすすめの本の紹介
- ・ 読書週間に合わせた読み聞かせの実施
- ・ 図書室に来る・本を手にとるきっかけになる取組の実施



低学年への読み聞かせ



読書ビンゴ・図書おみくじ等本に親しむ取組



(2) 授業での活用

学びを広げる図書活用

ア 国語科での活用

実践例① 1年「うみのかくれんぼ」



国語の学習で、説明する文について学習した後、図鑑を使って自分が調べた生き物を紹介

学びを深める図書活用

イ 道徳での活用

実践例② 5年「星が光った」



本時の内容項目「感動、畏敬の念」により迫るため、図書資料で様々な自然の美しさや人間の力を越えたものを探す

(3) 子どもの読書活動に対する指導

ア 家庭読書の取組・・・ノータレビデーと合わせて、学期に1回

家庭で読書に親しむ機会をつくる

イ 「図書だより」・・・家庭読書の感想交流やおすすめの本の紹介

読書週間や子ども読書の日の周知に活用

学校図書だより
6月号号外

家庭読書、あがりたうござんした!!

読書感想文の課題図書や各月の行事にまつわる本の紹介は、本の表紙と概要を示して読書意欲を高める工夫をする

子どもが読みたい本

つし学習

1年生: 読書の楽しさを伝える

2年生: 読書の楽しさを伝える

3年生: 読書の楽しさを伝える

4年生: 読書の楽しさを伝える

5年生: 読書の楽しさを伝える

家庭読書に取り組んだ後、児童と保護者の感想やおすすめの本を図書だよりで紹介

学校図書だより
7月号号外

読書感想文の課題図書や各月の行事にまつわる本の紹介は、本の表紙と概要を示して読書意欲を高める工夫をする

読書感想文の課題図書や各月の行事にまつわる本の紹介は、本の表紙と概要を示して読書意欲を高める工夫をする

読書感想文の課題図書や各月の行事にまつわる本の紹介は、本の表紙と概要を示して読書意欲を高める工夫をする

(4) 地域の方・関連施設との取組

ア 図書ボランティアによる読み聞かせ・・・月1回1学年ずつ実施



卒業前の6年生へ最後の読み聞かせ
6年間見守ってくださった地域の方々だからこの選書で6年生へエールを送っていただきました。

図書ボランティアの方々には、本の修繕や図書室の整備もお世話になっています。

イ 市立図書館司書によるブックトーク

ウ 市立図書館・府立図書館からの借り入れ

エ アルミ缶回収による本の購入・・・教員や市立図書館の司書が選書したものから児童の希望アンケートをもとに購入

4 成果と課題

実践テーマを「魅力ある学校図書館を目指して—すべての子どもに図書を届ける—すべての子どもに図書で力を付ける—」をもとに、利用しやすい図書室づくりや児童の身近に図書がある環境づくりに努めた結果、次のような成果と課題が見られた。

- いつでも本が身近にある環境を整えることで、児童の図書室の来室が増え、図書の貸し出し数の増加につながった。
- 図書館加配による図書館利用指導が全学年に実施できた。その結果、調べものの部屋への関心が高まったり、利用が増えたりした。
- 読書センターの拡張機能的な取組として授業支援を行った。意図的に読書とつなぐ授業を行うことで、児童の選書の広がりが見られた。
- 家庭で読書をしている児童の割合は低く、読書の習慣化には課題が残る。
- 児童の選書には偏りがあり、文学や長文を読むことへの苦手意識が残っている。

